

3-4 履修モデル（デザイン学部）

(1) デザイン学部履修モデル 2026年度（編入学生は2028年度）以降入学生用 都市・社会デザインコースの履修モデルについて

都市・社会デザインコース：本コースでは、複雑化する都市や社会において、建築・環境デザインと地域共創デザインの実践的な教育を行います。

都市・社会デザインコースの学びの目標：基礎的な造形表現に加え、建築や住環境の体系的な知識と、地域コミュニティ、メディアなど横断的な知識を柔軟に学びながら、総合的なデザイン実習を通じて、持続可能な都市や社会を実現するためのデザイン力を養います。

都市・社会デザインコースの履修モデルと総合実習：各自が学びたいテーマにより、履修が推奨される科目の組み合わせの一例を示したものが次の履修モデルです。

デザイン総合実習Ⅰは、ハード面・ソフト面を有機的につなぎ、人々の生活を豊かにするデザイン力の基礎を養います。

デザイン総合実習Ⅱ・Ⅲでは、「建築・環境デザイン」か「地域共創デザイン」かいずれかを選択してより専門的なデザイン力を養います。

デザイン総合実習Ⅳでは、複数のゼミでの学びを通じて、これまでに培った基礎と専門性を統合し、発展的なデザイン力を養います。

【デザイン総合実習Ⅱ・Ⅲ】

履修モデルA

人々が豊かに暮らすための建築や都市のあり方を計画・設計できる人材を育成する履修モデル
一級建築士受験資格とシルバーマイスター（G、D）認定も目指して発展的な知識や技術を身につけ、多様化する社会や人々の要求に応えるとともに、持続性のある快適な空間を生み出すための考え方、デザイン手法の能力について設計・実習等を通じて建築設計や都市計画など専門的な力を養います。

履修モデルB

人々が豊かに暮らすための住環境のあり方を計画・設計できる人材を育成する履修モデル
二級建築士受験資格とシルバーマイスター（G）認定も目指して発展的な知識や技術を身につけ、社会が抱える多様で複雑な課題を総合的な視野で捉え、設計・実習等を通じてそれらの解決に貢献できる能力を培い、インテリアコーディネーター・ランドスケープデザイナー・まちづくりプランナーなど横断的なデザイン力を養います。

履修モデルC

地域コミュニティやデザインの力を活かして、未来の暮らしや社会をプロデュースできる人材を育成する履修モデル
都市・社会デザインコースの展開科目を基盤に学ぶことで、自治体やまちづくり会社、NPO、コンサルティングや教育機関、さらにはローカル企業など多様な場で地域課題の解決と価値共創に貢献できる力を養います。

履修モデルD

メディアやデザインの力を活かして、未来の暮らしや社会をプロデュースできる人材を育成する履修モデル
情報デザインコースの展開科目も横断的に学ぶことで、プロデューサー、編集者やクリエイター、インタウンデザイナーやデザインエンジニア、文化や教育を支えるコーディネーターなど多様な職能に繋がる総合的なプロデュース力を養います。

建築・環境デザイン

地域共創デザイン

一級・二級建築士の受験資格取得には、指定科目を修めて卒業することが必要となり、免許登録には一定の実務経験が必要です（二級建築士については0年の場合があります）。

3-4 履修モデル（デザイン学部）

(1) デザイン学部履修モデル 2026年度（編入学生は2028年度）以降入学生用 情報デザインコースの履修モデルについて

情報デザインコース：本コースでは、人間の役割が問われる正解の無い社会において、ヒト・モノ・コト・環境の相互作用を対象とする情報デザインの実践的な教育を行います。

情報デザインコースの学びの目標：情報学、工学、心理学、芸術学、データサイエンスなどの学修を通じて、発想豊かに具体的に提案し、正解の無い社会で活躍できるデザイン力を養います。

情報デザインコースの履修モデルと総合実習：情報デザインコースにおけるデザイン総合実習は、全ての履修モデルに共通する、皆さん各々が得た知識や技術を複合的に実践する実習科目です。具体的には、ものづくりや情報コミュニケーションを基盤とする基礎課題、知識・技術・態度を発展させるための複合的実習課題、選択した高度な専門的課題について段階的に実施します。

デザイン総合実習Ⅰでは、デザインに必要な基礎力を養います。

デザイン総合実習Ⅱでは、実践的なデザイン能力を養います。

デザイン総合実習Ⅲでは、専門的・横断的なデザイン能力を養います。

デザイン総合実習Ⅳでは、正解の無い社会で専門性を活かす能力を養います。

クリエイティブデザインモデル

創造性を基盤として、新たな価値や体験を構想し、人々の感情や行動に影響を与える独創的なアイデアや仕組みを創出する能力を育成する履修モデル

人間の心理や感性を踏まえた創造実践スキルを学ぶことで、広告・プロモーション、グラフィックデザイン、Web・UI/UXデザイン、プロダクトデザイン、商品・パッケージデザイン、CG、エンタテインメントなど、ヒト・モノ・コト・環境を通して新たな価値・体験を創造できる力を養います。

デザインリサーチモデル

製品やサービス、制度や社会システムの設計において、ユーザーのニーズ・行動・価値観を多角的に分析・理解し、データサイエンスに基づくエビデンスを根拠として、その知見をデザイン提案へと統合する力を育成する履修モデル

批評的視点を踏まえた表現スキルを学ぶことで、テック企業(UXリサーチ)、サービスデザイン・コンサルティング、社会課題のデザインなど、確かな価値を社会に還元する力を養います。

地域実践デザインモデル

地域の暮らし、文化、風土に内在する情報や関係性を読み解き、住民の知恵や協働のプロセスを活かしたデザインを通じて、自立・共生型社会を支える実践的能力を育成する履修モデル

都市・社会デザインコースの展開科目も横断的に学ぶことで、コミュニティデザイナー、地域内発型ビジネス・クリエイター、地域コーディネーター、ローカルブランディング、NPO・一般社団法人スタッフ、中間支援NPO、地域の中核企業、地方公務員など、ヒトと地域を多角的に結びつける力を養います。

3-4 履修モデル（デザイン学部）

(1) デザイン学部履修モデル 2026年度（編入学生は2028年度）以降入学生用

①都市・社会デザインコース【履修モデルA】一級建築士受験資格+シルバーマイスター（G,D）認定

- ※ 履修モデルはあくまで参考なので、学生個人の達成目標に向け、履修計画を立てる必要があります。時間割上、重複する科目についてはまず自分の所属コースの科目を履修し、あとの学年で他コースの科目を履修することを推奨します。
- ※ 配当年次は履修が可能となる学年です。所属する学年と配当年次が下の年次の科目を履修することができます。
- ※ ◆はG×Dプロジェクト（P.67）の「環境共生型人材育成プログラム」対象科目、◇は「イノベーション人材育成教育プログラム」対象科目です。
- ※ 当該履修モデルにおいて（ ）で記載している科目もまた建築士指定科目です。ご自身の目標にあわせ、すべて履修をしたり、指定科目における同区分の他の科目と置き換えたりすることができます。すべてを履修した場合の合計単位数は計欄に（ ）で記載されているとおりです。

区分		配当年次	1年次	2年次	3年次	4年次	計	
学際教育科目	科学系科目	導入科目	スタートアップ演習 2				2単位	
		文化に対する理解	芸術文化論 ②				14単位	
		人間と自然に対する理解	◆自然科学A（科学史） ② ◆自然科学C（動物の生態） ②	◆自然科学B（環境と暮らし） ②				
		社会に対する理解	◆札幌を学ぶ ② ◇現代社会論E（情報科学） ②		◇統計の世界 ②			
	技術・スキル系科目	言語	英語 I A	1	実践英語A ①			8単位
			英語 I B	1	実践英語B ①			
			英語 I C	1				
	英語 II A		1					
	英語 II B		1					
	英語 II C		1					
情報技術	◇情報リテラシー I	1				2単位		
	情報リテラシー II	1						
コミュニケーション	プレゼンテーション	1				2単位		
	日本語表現法 ①							
学際教育科目			22	4	2		28単位	
基本科目	デザイン概論	都市・社会デザイン論 2					4単位	
		情報デザイン論 2						
	デザイン理論	デザイン史 2	◇情報社会論 2	◇感性情報学 2			20(22)単位	
		アイデア生成プロセス 2	◆エコロジカルデザイン ②					
		視覚・色彩心理学 2	ユニバーサルデザイン論 2					
		◆デザイン工学 ② ◇デザインと数学 ②	近現代建築史 ② (環境心理学) ②					
	デザイン基盤	表現基礎(描画) 2	デザイン研究法(都市・社会) 2	デザイン英語(2年次開講科目) ②			20単位	
		表現基礎(製図) ②	建築設計製図 ②					
		表現基礎(構成) ②	建築情報デザイン実習 ②					
		Webデザイン 2	建築情報プレゼンテーション実習 ②					
材料加工理論/実習 I 2								
計			24	16 (18)	4		44(46)単位	
専門教育科目	展開科目	都市・社会デザインコース	建築デザイン論 ②	構造・材料実験 ②	住宅論 ②		32(36)単位	
			◆環境計画論 ②	建築生産 ②				
			一般構造 ②	◆建築設備計画 ②				
			建築計画論 ②	都市計画論 ②				
			(家具・インテリアデザイン) ②	(景観デザイン文化論) ②				
			◆環境芸術論 ②	構造力学 I ②				
				構造力学 II ②				
				建築構法 ②				
			建築法規 ②					
			◆ランドスケープアーキテクチャ ②					
	◆寒冷地デザイン論 ②							
他のコース	◇プログラミング I ②	ユーザーエクスペリエンスデザイン I ②			10単位			
	◇プログラミング II ②	◇プログラミング III ② ◇ビジュアライゼーション II ②						
計				14 (16)	26 (28)	2	42(46)単位	
発展科目	連携	学部連携基礎論 2	学部連携演習 2			4単位		
		デザイン総合実習 I (都市・社会) 2	デザイン総合実習 III (建築・環境) 2			8単位		
		デザイン総合実習 II (建築・環境) 2	デザイン総合実習 IV (都市・社会) 2					
	卒業研究	卒業研究 I			3	6単位		
		卒業研究 II			3			
キャリア教育	フィールドスタディ ②	インターンシップ ②			4単位			
計			8	8		6	22単位	
専門教育科目			24	38 (42)	38 (40)	8	108(114)単位	
合計			46	42 (46)	40 (42)	8	136(142)単位	

※表中数字は単位数を表し、○数字は選択科目、その他は必修科目である。網掛けの科目は、建築士試験受験資格のための指定科目である。なお、指定科目は変更となる場合がある。また、建築士の免許登録には、一定の実務経験が必要となります（二級建築士については、0年の場合があります。）。

※建築士受験資格のための指定科目と本学において履修可能な指定科目についてはP.90を確認してください。

3-4 履修モデル（デザイン学部）

(1) デザイン学部履修モデル 2026年度（編入学生は2028年度）以降入学生用

②都市・社会デザインコース【履修モデルB】二級建築士受験資格+シルバーマイスター（G）認定

- ※ 履修モデルはあくまで参考なので、学生個人の達成目標に向け、履修計画を立てる必要があります。時間割上、重複する科目についてはまず自分の所属コースの科目を履修し、あとの学年で他コースの科目を履修することを推奨します。
- ※ 配当年次は履修が可能となる学年です。所属する学年と配当年次が下の年次の科目を履修することができます。
- ※ ◆はG×Dプロジェクト（P.67）の「環境共生型人材育成プログラム」対象科目です。
- ※ 当該履修モデルにおいて（ ）で記載している科目を履修することで、地域共創デザインに関する学びを深めることが可能です。ご自身の目標にあわせ、すべて履修をしたり、同区分の他の科目と置き換えたりすることができます。すべてを履修した場合の合計単位数は計欄に（ ）で記載されているとおりです。

区分	配当年次	1年次	2年次	3年次	4年次	計	
学際教育科目	導入科目	スタートアップ演習 2				2単位	
	科学系科目	文化に対する理解	生活と文化 ②				12単位
		人間と自然に対する理解	◆自然科学A（科学史） ② ◆自然科学C（動物の生態） ②	◆自然科学B（環境と暮らし） ②			
		社会に対する理解	◆札幌を学ぶ ②		統計の世界 ②		
	技術・スキル系科目	言語	英語 I A	実践英語A ①			8単位
			英語 I B	実践英語B ①			
			英語 I C				
			英語 II A				
	英語 II B						
	英語 II C						
情報技術	情報リテラシー I	1				2単位	
	情報リテラシー II	1					
コミュニケーション	プレゼンテーション	1				2単位	
	日本語表現法 ①						
学際教育科目		20	4	2		26単位	
基本科目	デザイン概論	都市・社会デザイン論 2				4単位	
		情報デザイン論 2					
	デザイン理論	デザイン史 2	情報社会論 2	感性情報学 2	デザイン展開プロセス ②	20単位	
		アイデア生成プロセス 2	ユニバーサルデザイン論 2				
		視覚・色彩心理学 2	環境心理学 ②				
	デザイン基盤	◆デザイン工学 ②	◆エコロジカルデザイン ②			20単位	
		表現基礎（描画） 2	デザイン研究法（都市・社会） 2				
		表現基礎（製図） ②	建築設計製図 ②				
		表現基礎（構成） ②	建築情報デザイン実習 ②				
		Webデザイン 2					
材料加工理論／実習 I 2							
材料加工理論／実習 II ②							
時間表現理論／演習 I ②							
計		26	14	4		44単位	
専門教育科目	都市・社会デザインコース	◆環境芸術論 ②	◆建築設備計画 ②	住宅論 ②	22(32)単位		
		(ソーシャルプロダクト) ②	(空間演出デザイン論) ②				
	◆環境計画論 ②	(映像音響演出) ②					
	一般構造 ②	◆寒冷地デザイン論 ②					
	家具・インテリアデザイン ②	(デザイン経営論) ②					
	(地域ブランド構築) ②	◆ランドスケープアーキテクチャ ②					
		建築生産 ②					
		建築法規 ②					
		構造力学 I ②					
	他のコース	プロダクトデザイン I ②	ビジュアルライゼーション II ②		10単位		
	プロダクトデザイン II ②						
	協同デザイン II ②						
	ビジュアルライゼーション I ②						
計			16 (20)	14 (20)	2	32(42)単位	
発展科目	連携		学部連携基礎論 2	学部連携演習 2		4単位	
	総合実習		デザイン総合実習 I (都市・社会) 2	デザイン総合実習 III 2		8単位	
			デザイン総合実習 II 2	デザイン総合実習 IV (都市・社会) 2			
	卒業研究				卒業研究 I 3 卒業研究 II 3	6単位	
	キャリア教育		フィールドスタディ ②	インターンシップ ②		4単位	
計			8	8	6	22単位	
専門教育科目		26	38 (42)	26 (32)	8	98(108)単位	
合計		46	42 (46)	28 (34)	8	124(134)単位	

※表中数字は単位数を表し、○数字は選択科目、その他は必修科目である。
 ※建築士受験資格のための指定科目と本学において履修可能な指定科目についてはP.90を確認してください。

3-4 履修モデル（デザイン学部）

(1) デザイン学部履修モデル 2026年度（編入学生は2028年度）以降入学生用

③都市・社会デザインコース【履修モデルC】

※ 履修モデルはあくまで参考なので、学生個人の達成目標に向け、履修計画を立てる必要があります。時間割上、重複する科目についてはまず自分の所属コースの科目を履修し、あとの学年で他コースの科目を履修することを推奨します。

※ 配当年次は履修が可能となる学年です。所属する学年と配当年次が下の年次の科目を履修することができます。

区分	配当年次	1年次	2年次	3年次	4年次	計	
学際教育科目	導入科目	スタートアップ演習 2				2単位	
	科学系科目	文化に対する理解	芸術文化論 ② 生活と文化 ②				12単位
		人間と自然に対する理解	体のしくみ ②	自然科学B（環境と暮らし） ②			
		社会に対する理解	現代社会論C（経済） ② 札幌を学ぶ ②				
	技術・スキル系科目	言語	英語 I A 1	実践英語A ①			8単位
			英語 I B 1	実践英語B ①			
			英語 I C 1				
			英語 II A 1				
			英語 II B 1				
	英語 II C 1						
情報技術	情報リテラシー I 1					2単位	
	情報リテラシー II 1						
コミュニケーション	プレゼンテーション 1	グループ・ダイナミックス ①				2単位	
学際教育科目		21	5			26単位	
基本科目	デザイン概論	都市・社会デザイン論 2				4単位	
		情報デザイン論 2					
	デザイン理論	デザイン史 2	情報社会論 2	感性情報学 2		20単位	
		アイデア生成プロセス 2	ユニバーサルデザイン論 2	メディア社会論 ②			
		視覚・色彩心理学 2	環境心理学 ② エコジカルデザイン ②	デザイン展開プロセス ②			
	デザイン基盤	表現基礎（描画） 2	デザイン研究法（都市・社会） 2			22単位	
		表現基礎（製図） ②	建築設計製図 ②				
		表現基礎（構成） ②	建築情報プレゼンテーション実習 ②				
		Webデザイン 2	建築情報デザイン実習 ②				
		材料加工理論／実習 I 2	時間表現理論／演習 II ②				
時間表現理論／演習 I ②							
計		22	18	6		46単位	
専門教育科目	都市・社会デザインコース		メディア芸術論 ②	都市計画論 ②		22単位	
			コミュニティデザイン論 ②	空間演出デザイン論 ②			
			環境芸術論 ②	地域ブランド構築(2年次開講科目) ②			
			ソーシャルプロダクト ②	映像音響演出 ②			
			観光デザイン論 ②	デザイン経営論 ②			
				景観デザイン文化論 ②			
	他のコース	ビジュアルライゼーション I ②	ヒューマンインタラクション I ②	ユーザーエクスペリエンスデザイン III ②		10単位	
	協同デザイン I ②	ユーザーエクスペリエンスデザイン I ②					
	計		14	16	2	32単位	
発展科目	連携		学部連携基礎論 2	学部連携演習 2		4単位	
	総合実習		デザイン総合実習 I（都市・社会） 2	デザイン総合実習 III 2		8単位	
			デザイン総合実習 II 2	デザイン総合実習 IV（都市・社会） 2			
	卒業研究				卒業研究 I 3 卒業研究 II 3	6単位	
	キャリア教育		フィールドスタディ ②	インターンシップ ②		4単位	
計			8	8	6	22単位	
専門教育科目		22	40	30	8	100単位	
合計		43	45	30	8	126単位	

※表中数字は単位数を表し、○数字は選択科目、その他は必修科目である。

3-4 履修モデル（デザイン学部）

(1) デザイン学部履修モデル 2026年度（編入学生は2028年度）以降入学生用

④ 都市・社会デザインコース【履修モデルD】

- ※ 履修モデルはあくまで参考なので、学生個人の達成目標に向け、履修計画を立てる必要があります。時間割上、重複する科目についてはまず自分の所属コースの科目を履修し、あとの学年で他コースの科目を履修することを推奨します。
- ※ 配当年次は履修が可能となる学年です。所属する学年と配当年次が下の年次の科目を履修することができます。

区分	配当年次	1年次	2年次	3年次	4年次	計	
学際教育科目	導入科目	スタートアップ演習 2				2単位	
	科学系科目	文化に対する理解	芸術文化論 ② 表象文化論 ② 生活と文化 ②				14単位
		人間と自然に対する理解	体のしくみ ②	自然科学B（環境と暮らし） ②			
		社会に対する理解	現代社会論E（情報科学） ②		統計の世界 ②		
	技術・スキル系科目	言語	英語 I A 1	実践英語A ①			8単位
			英語 I B 1	実践英語B ①			
			英語 I C 1				
			英語 II A 1				
			英語 II B 1				
			英語 II C 1				
情報技術	情報リテラシー I 1					2単位	
	情報リテラシー II 1						
コミュニケーション	プレゼンテーション ①					2単位	
	日本語表現法 ①						
学際教育科目		22	4	2		28単位	
基本科目	デザイン概論	都市・社会デザイン論 2				4単位	
		情報デザイン論 2					
	デザイン理論	デザイン史 2	情報社会論 2	感性情報学 2		20単位	
		アイデア生成プロセス 2	ユニバーサルデザイン論 2	メディア社会論 ②			
	デザイン基盤	視覚・色彩心理学 2	環境心理学 ②	デザイン展開プロセス ②		22単位	
		表現基礎(描画) 2	デザイン研究法(都市・社会) 2				
		表現基礎(製図) ②	建築設計製図 ②				
		表現基礎(構成) ②	時間表現理論・演習 II ②				
		Webデザイン 2	製品系CAD実習 ②				
		材料加工理論／実習 I 2	Webプログラミング ②				
時間表現理論／演習 I ②							
計		22	18	6		46単位	
専門教育科目	都市・社会デザインコース		メディア芸術論 ②	空間演出デザイン論 ②		18単位	
			コミュニティデザイン論 ②	地域ブランド構築(2年次開講科目) ②			
			環境芸術論 ②	映像音響演出 ②			
			観光デザイン論 ②	デザイン経営論 ②			
			ソーシャルプロダクト ②				
	他のコース		ビジュアライゼーション I ②	ヒューマンインタラクション I ②	ユーザーエクスペリエンスデザインⅢ ②	14単位	
			協同デザイン I ②	ヒューマンインタラクション II ②			
				ユーザーエクスペリエンスデザイン I ②			
	計			14	16	2	32単位
発展科目	連携		学部連携基礎論 2	学部連携演習 2		4単位	
	総合実習		デザイン総合実習 I (都市・社会) 2	デザイン総合実習Ⅲ(地域共創) 2		8単位	
			デザイン総合実習 II (地域共創) 2	デザイン総合実習Ⅳ(都市・社会) 2			
	卒業研究				卒業研究 I 3 卒業研究 II 3	6単位	
キャリア教育		フィールドスタディ ②	キャリアデザイン ②		4単位		
計			8	8	6	22単位	
専門教育科目		22	40	30	8	100単位	
合計		44	44	32	8	128単位	

※表中数字は単位数を表し、○数字は選択科目、その他は必修科目である。

3-4 履修モデル（デザイン学部）

(1) デザイン学部履修モデル 2026年度（編入学生は2028年度）以降入学生用

⑤情報デザインコース【クリエイティブデザイン】

- ※ 履修モデルはあくまで参考なので、学生個人の達成目標に向け、履修計画を立てる必要があります。時間割上、重複する科目についてはまず自分の所属コースの科目を履修し、あとの学年で他コースの科目を履修することを推奨します。
- ※ 配当年次は履修が可能となる学年です。所属する学年と配当年次が下の年次の科目を履修することができます。

区分	配当年次	1年次	2年次	3年次	4年次	計	
学際教育科目	導入科目	スタートアップ演習 2				2単位	
	科学系科目	文化に対する理解	芸術文化論 ②				12単位
		人間と自然に対する理解	心のしくみ ② 体のしくみ ②				
		社会に対する理解	現代社会論E（情報科学） ②	現代社会論C（経済） ②	統計の世界 ②		
	技術・スキル系科目	言語	英語ⅠA	実践英語A ①			8単位
			英語ⅠB	実践英語B ①			
			英語ⅠC				
			英語ⅡA				
			英語ⅡB				
			英語ⅡC				
情報技術	情報リテラシーⅠ	1				2単位	
	情報リテラシーⅡ	1					
コミュニケーション	プレゼンテーション	1	グループ・ダイナミクス ①			2単位	
学際教育科目		19	5	2		26単位	
基本科目	デザイン概論	都市・社会デザイン論	2				4単位
		情報デザイン論	2				
	デザイン理論	デザイン史	2	情報社会論 2	知的財産権論 ②		20単位
		デザイン工学	②	コンピュータグラフィックス ②	感性情報学 2		
		アイデア生成プロセス	2	環境心理学 ②			
		視覚・色彩心理学	2	ユニバーサルデザイン論 2			
	デザイン基盤	表現基礎（描画）	2	デザイン研究法（情報デザイン） 2			20単位
		表現基礎（構成）	②	情報製品製図 ②			
		材料加工理論／実習Ⅰ	2	3DCG実習 ②			
		材料加工理論／実習Ⅱ	②	製品系CAD実習 ②			
時間表現理論／演習Ⅰ		②					
Webデザイン		2					
計		24	16	4		44単位	
専門教育科目	展開科目	情報デザインコース	プロダクトデザインⅠ ②	ユーザーエクスペリエンスデザインⅠ ②	ユーザーエクスペリエンスデザインⅢ ②	22単位	
			プロダクトデザインⅡ ②	ユーザーエクスペリエンスデザインⅡ ②			
			プログラミングⅠ ②	ヒューマンインタラクションⅠ ②			
			プログラミングⅡ ②	ヒューマンインタラクションⅡ ②			
ビジュアライゼーションⅠ ②			ビジュアライゼーションⅡ ②				
他のコース	家具・インテリアデザイン ②	映像音響演出 ②		10単位			
	メディア芸術論 ②	デザイン経営論 ②					
	ソーシャルプロダクト ②						
計			16	14	2	32単位	
発展科目	連携	総合実習	学部連携基礎論 2	学部連携演習 2		4単位	
			デザイン総合実習Ⅰ 2	デザイン総合実習Ⅲ 2		8単位	
			デザイン総合実習Ⅱ 2	デザイン総合実習Ⅳ 2			
					卒業研究Ⅰ 3 卒業研究Ⅱ 3	6単位	
キャリア教育	フィールドスタディ ②	キャリアデザイン ②				4単位	
計			8	8	6	22単位	
専門教育科目		24	40	26	8	98単位	
合計		43	45	28	8	124単位	

※表中数字は単位数を表し、○数字は選択科目、その他は必修科目である。

3-4 履修モデル（デザイン学部）

(1) デザイン学部履修モデル 2026年度（編入学生は2028年度）以降入学生用

⑥情報デザインコース【デザインリサーチ】

- ※ 履修モデルはあくまで参考なので、学生個人の達成目標に向け、履修計画を立てる必要があります。時間割上、重複する科目についてはまず自分の所属コースの科目を履修し、あとの学年で他コースの科目を履修することを推奨します。
- ※ 配当年次は履修が可能となる学年です。所属する学年と配当年次が下の年次の科目を履修することができます。

区分	配当年次	1年次	2年次	3年次	4年次	計	
学際教育科目	導入科目	スタートアップ演習 2				2単位	
	科学系科目	文化に対する理解					12単位
		人間と自然に対する理解	心のしくみ ②				
		社会に対する理解	自然科学A（科学史） ②				
	技術・スキル系科目	言語	現代社会論E（情報科学） ②	現代社会論B（国際関係） ②	統計の世界 ②		8単位
			英語ⅠA	実践英語A ①			
			英語ⅠB	実践英語B ①			
		英語ⅠC					
		英語ⅡA					
		英語ⅡB					
英語ⅡC							
情報技術	情報リテラシーⅠ 1				2単位		
コミュニケーション	情報リテラシーⅡ 1						
	プレゼンテーション 1	グループ・ダイナミクス ①			2単位		
学際教育科目		17	7	2		26単位	
基本科目	デザイン概論	都市・社会デザイン論 2				4単位	
		情報デザイン論 2					
	デザイン理論	デザイン史 2	情報社会論 2	メディア社会論 ②		20単位	
		デザインと数学 ②	ユニバーサルデザイン論 2	デザイン展開プロセス ②			
		デザイン工学 ②		感性情報学 2			
		アイデア生成プロセス 2					
		視覚・色彩心理学 2					
	デザイン基盤	表現基礎（描画） 2	デザイン研究法（情報デザイン） 2			20単位	
		表現基礎（製図） ②	デザイン英語 ②				
		表現基礎（構成） ②	情報製品製図 ②				
材料加工理論／実習Ⅰ 2		時間表現理論／演習Ⅱ ②					
Webデザイン 2		Webプログラミング ②					
計		24	14	6		44単位	
専門教育科目	展開科目	情報デザインコース	プログラミングⅠ ②	ユーザーエクスペリエンスデザインⅠ ②	ユーザーエクスペリエンスデザインⅢ ②	22単位	
			プログラミングⅡ ②	ユーザーエクスペリエンスデザインⅡ ②	ビジュアルライゼーションⅢ ②		
			協同デザインⅠ ②	プログラミングⅢ ②			
			協同デザインⅡ ②	ビジュアルライゼーションⅡ ②			
			ビジュアルライゼーションⅠ ②				
他のコース	メディア芸術論 ②	寒冷地デザイン論 ②		10単位			
	地域ブランド構築 ②	デザイン経営論 ②					
	観光デザイン論 ②						
計			16	12	4	32単位	
発展科目	連携	学部連携基礎論 2	学部連携演習 2			4単位	
		デザイン総合実習Ⅰ 2	デザイン総合実習Ⅲ 2			8単位	
	卒業研究	デザイン総合実習Ⅱ 2	デザイン総合実習Ⅳ 2				
				卒業研究Ⅰ 3	卒業研究Ⅱ 3	6単位	
	キャリア教育			インターンシップ ②	キャリアデザイン ②	4単位	
計			6	10	6	22単位	
専門教育科目		24	36	28	10	98単位	
合計		41	43	30	10	124単位	

※表中数字は単位数を表し、○数字は選択科目、その他は必修科目である。

3-4 履修モデル（デザイン学部）

(1) デザイン学部履修モデル 2026年度（編入学生は2028年度）以降入学生用

⑦情報デザインコース【地域実践デザイン】

- ※ 履修モデルはあくまで参考なので、学生個人の達成目標に向け、履修計画を立てる必要があります。時間割上、重複する科目についてはまず自分の所属コースの科目を履修し、あとの学年で他コースの科目を履修することを推奨します。
- ※ 配当年次は履修が可能となる学年です。所属する学年と配当年次が下の年次の科目を履修することができます。

区分	配当年次	1年次	2年次	3年次	4年次	計	
学際教育科目	導入科目	スタートアップ演習 2				2単位	
	科学系科目	文化に対する理解	文学の世界 ② 生活と文化 ②				12単位
		人間と自然に対する理解		自然科学B（環境と暮らし） ②			
		社会に対する理解	現代社会論D（社会言語学） ② 札幌を学ぶ ②		統計の世界 ②		
	技術・スキル系科目	言語	英語 I A 1	実践英語A ①			8単位
			英語 I B 1	実践英語B ①			
			英語 I C 1				
			英語 II A 1				
			英語 II B 1				
			英語 II C 1				
情報技術	情報リテラシー I 1					2単位	
	情報リテラシー II 1						
コミュニケーション	プレゼンテーション 1	グループ・ダイナミックス ①				2単位	
学際教育科目		19	5	2		26単位	
基本科目	デザイン概論	都市・社会デザイン論 2				4単位	
		情報デザイン論 2					
	デザイン理論	デザイン史 2	情報社会論 2	知的財産権論 ②		20単位	
		アイデア生成プロセス 2	エコロジカルデザイン ②	デザイン展開プロセス ②			
	デザイン基盤	視覚・色彩心理学 2	環境心理学 ②	感性情報学 2		20単位	
		表現基礎(描画) 2	デザイン研究法(情報デザイン) 2				
		表現基礎(製図) ②	情報製品製図 ②				
		表現基礎(構成) ②	時間表現理論/演習 II ②				
		材料加工理論/実習 I 2					
		材料加工理論/実習 II ②					
時間表現理論/演習 I ②							
Webデザイン 2							
計		24	14	6		44単位	
専門教育科目	情報デザインコース		プログラミング I ②	ユーザーエクスペリエンスデザイン I ②	ユーザーエクスペリエンスデザイン III ②	18単位	
			協同デザイン I ②	ユーザーエクスペリエンスデザイン II ②			
			協同デザイン II ②	ヒューマンインタラクション I ②			
			ビジュアライゼーション I ②	ビジュアライゼーション II ②			
	他のコース		建築計画論 ②	寒冷地デザイン論 ②		14単位	
			コミュニティデザイン論 ②	デザイン経営論 ②			
			地域ブランド構築 ②				
			観光デザイン論 ②				
			環境芸術論 ②				
計			18	12	2	32単位	
発展科目	連携		学部連携基礎論 2	学部連携演習 2		4単位	
	総合実習		デザイン総合実習 I 2	デザイン総合実習 III 2		8単位	
			デザイン総合実習 II 2	デザイン総合実習 IV 2			
	卒業研究				卒業研究 I 3 卒業研究 II 3	6単位	
	キャリア教育		フィールドスタディ ②	インターンシップ ②		4単位	
計			8	8	6	22単位	
専門教育科目		24	40	26	8	98単位	
合計		43	45	28	8	124単位	

※表中数字は単位数を表し、○数字は選択科目、その他は必修科目である。